蘇遼海

本の関系の

1000元人 委员士员元

撫千蘇幸 金家 順寨屯天⊕ 開秦 上 上 終

三三九三三名

大日下土

老美

馨芳即在塔

覺清爽並能

公積金岩 五 放作所有 零

金銀行

定營業時間由日曆十 月初

ル 点 鐘 至 十 点鐘限

横濱正金銀 行奉天支店謹啓

举不悞寫明地祉以免遺失 烧送特此明臨本行面看面詢可也外埠如欲入迥金表者清将買去之四十 張票 送一回去、票惠存不可廢去下禮拜再買

行軍携帶電話器

專

辦

拜

口營國淸大辦承

商物等械器葯醫局生衛

奉天西關外

切 大奉鐵長

(如唱戲校書)服用此片能使咽

喉清潤易至

刀强略精汗

仍除酒毒并

田商店廣 奉天小西關大街路北

電話
百九十番
番業部

東營口元神廟街 電話 事

隆銀行

西分店 総經理人

聚棧院內暫為開鄉專售 武備上海南苑小跕馬廠等處先行盟上海南苑小跕馬廠等處先行盟 (作名科) 圖書 章程諸君 如需用何書開辦今又在奉天小西關小什字街而立胡同開辦今又在奉天小西關小什字街而立胡同 書請寫通

E

堅牢無比鋼鐵精製保 櫃以及手提保險銀櫃 新到貨物緊急告 險銀

貨員廠名下天運專

(-)

銀庫胡同路南門面三間便級鄉帶等無不俱全所售之人,

奉天東華門外大街東頭路北

奉天東華明

合式新樣皮箱錢包子

八月十九日

召見軍機

溥倫

孫家鼐

抄

諭

恭

七日

溺職各款當經

論令徐世昌確查兹據查明覆奏

該署婚

万軍達桂任用 悪人

人辜恩溺職著

即行革職者

小叙用佐領豐年侵

蝕巨欵問利營私著 車職

小不叙用所否

欺項交地方官嚴行押追前署吉林道余

論川據御史趙啓霖奏悉署吉林將軍達桂徇私·

濬

招權納賄任用私人吉强軍統領都司

殿 甲驕奢貪鄙毫無紀律候補道趙 宗鎔 性頗殘忍受賄有據均著革職水不 荒謬昏庸著革 職發往軍台效力候選知府· 用候補道前武常廳同知柳大有誣良爲盜 **冉霖遇事招搖貪黷無恥著卽行革職仍交地** 万官押繳公款候選知府李

叙用該部知道欽此 質恩侍差妄作倚勢凌人驍騎校桂全庸所杜 玉 衡聽斷乖張貪得無厭候選知州 干 昭著佐領衛題趨炎附勢卑鄙任性候補同判 上於奔競候補同知王鴻遇鑽電取巧劣跡 世斌狎比優伶

抄

+

八

百二

八月十八日候補縣周繩武禀知奉 度支季宵計科一等科員即奉度支季宵計科一等科員中縣查案禀辭 前廣西補門知中縣查案禀辭 前廣西補門知知 大月十八日候補縣周繩武禀知奉 秦委文 應局委員 安員 候選直隷州一月省墓 山東試 前湖南補用 甘肅知縣王 奉奉天 知縣周埼 埼東三省 隸 類用道州中 世知 田 田 田 田 州 県 駅 旭 州 禀

在不容以稍緩

而所謂融化滿漢者。使立憲之

猶爲立憲政體之要素

京宮保と一言而定が、大大大学の一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点のでは、一点の

論袁宮保密陳管見十 條

乃見重臣。 得重臣一言而鎭之。 夫國家何 無大事。 法制之不修。 一說者遂以事急

本摘號車售金銀

金銀洋銅眼

快大臣欽此 一次 大臣欽此 一次 大臣欽此 一次 大臣欽此

今王大臣以將政務處歸併 資國家艱鉅重大之責任。而作監督於中個。 以建立中央政府。實為樹立責任內閣之目 之謂乎。夫袁宮保之所謂合軍機處政務處 。亦稍近焉。而重臣之以一言定國是者。其一不如一狐之腋。千夫之諸諸。不如一士之一致院。而其他亦將次第一行。古所謂千羊之一族已議覆其五。而其卓然見諸施行者。爲設出 內閣。凡軍機大臣。及

胡

一定之議論。袁宮保奏由府州縣。選擧省議員應如何選舉。權限應如何劃定。尚待之地位。集全國之論。而作政府之監 何選舉。權限應如何制乎。而資政院之論。而作政 爲大宗業經先後電達在案頃准袁宮保 鎮抵欽東省原定百八十萬內以 並咨 路務關係全局自應另籌但失此鉅欵 撥總須確 十萬濟北宫運局十 方合辦法應請

學省匪亂蔓延 粤省

學士周爱諏阻撓女學 阻撓 上 片 已 載 昨 報 弦 义 竟 。 者

之の之の 第二片荒謬之談迂塞之狀幾非稍有 士孫家與十年前曾奏言臣有管 理天

入軍機之日矣。 U 天°又° 下。不。 事。禁。然。然 託。張。 空。袁。 談。兩。 也°大°

因某大臣有奏請改訂朝儀之議擬条酌日本考究 如是未知確否 代安爲改良擬禀承張中堂 改訂朝儀之擬議 現在政府王立 次議具奏品 大 臣

第念尚未逾歸解之限此次從寬免議 中央搜刮之嚴厲 __ 需銀 大局此 任意 部 餉 谷 海 關於 需與 艱窘 奏祭 定 關

民政部要求報律十餘款閱其中之要點有京師報界要求報律近聞京師報界陳源 報館訪事員乘坐火車 聽審(三)封禁報館須聲明 須給免票 -事員 真公

集現與潛運兩司再四熟商除釐金烟酒稅 爲另籌津鎭鐵路抵歘事)外務部王大臣釣 東機楊蓮帥致外務部電力 有之欵方合辦法應請釣部代達少指二十萬實無他欵明知虛抵 萬統計 能再 再增 並不 三項 鉴津 百六 指查 據梁 十萬 易

欽州幾陷幸母 務。此。同一下 悍匪二千餘名携帶。 律肅清 進。攻。 殺 內。廣。亦 。目

之政見。

是故言

侍讀 夢想 餉銀百二十

此重咎今果不 熱火深至斯已極挽回之任舍學 幸而叛逆之徒生於留學悖逆之

交樞臣及 禁用西式操服一 奏請限制女學堂 請留學生之不 其誰與歸乃臣 己離部但現辦宜務學 爲排滿革命之徒導其先路云云尤極痛 陸軍服 務多所 旨交學部議奏而該部均予駁斥人咸怪之且現 多為該部所阻皆李家駒實尸 服措詞未免過巧說者謂學部 惟性謙抑不自裁斷前右丞李家駒學術秕繆於 之服而為我 各參議政務大臣公同平 主持故凡舉朝 式與四服 有不能無惑者 節有日今日中國服制非 朝 偏重語言文字論多中 -久無區別乃謂係用軍服非用 者限期補習今春道員許 王之定制學堂之着操服直 如救焚拯溺關緊責任至爲 士大夫所稱為嘉謨議論 上年撰文孝傳元 其咎今該右丞雖 尚書榮慶公忠純 中國古 肯而 珏

-省 要

當回國矣

政府照章

不

此等華工進口

現因!!俄戰時之軍功**奉** 駐紮遼陽之日軍師團長鮫島將軍 旨賞授男爵

總辦吳觀察笈孫等刻正預備行裝以便隨督意赴 **會督憲晋京之隨員** 廷寄晋京聞 其随員爲錢多替能訓文案處 此次督憲徐欽

司札派無論大中一組織乙大同報已

陝山兩省訪員報告該

處均已寄

到其勢力可謂澎

委派新 廷寄晋京而日本萩原總領事亦不 交涉事宜易 總領 事加藤君接辦云 人續議 由唐少幽交涉而日 久當回 徐欽的奉 國而 本

難照允開議惟 之一部 實消息云此次胡星使擬回至哈爾濱取 產問題敬悉 **畿南滿鐵路附近之礦產問題一節已紀前報妓聞** 徑赴上海而 己由俄京起程取路東 日本萩原總領 **%** 確 正 問題 未 允 開 議 然己係日本 之不來奉 本報前紀駐俄胡響議惟須磋商其餘礦產問題等語 不到奉 一是但撫順煤礦雖係南滿鐵路礦質平用電戸具 中照會兩帥略言磋商南滿鐵路 天云 由俄接收之礦產本總領 二省過季日 本報前紀駐俄胡 回京 督撫兩意提 _ 路海參威 節兹據 馨吾星使 萬產

奉督撫兩憲札飭咨行東三省轉運局派員請領兵 到奉然因房屋多待修葺以致日久未能 兵餉解交度支司 萬元並由天津赴京銀元局請領銅子 七日運到解交皮支司及銀元局矣 華俄道勝銀行辦事 奉天度支司日前 人於月前 辦現聞

修理工程日前已經告唆 帖銀元及存款押款借 律經理而便 開辦 中外紳商 兌銀兩美

一要求准許俄商接辦黑龍江吉拉利河件要求種々利權其關係於東三省者共 云俄使璞科第氏日前赴外務都提議 要求改正北滿洲稅關細則 鐵路沿線駐紮華軍現 俄使要求東三省利權 滿鐵派員測路 尚未知外部 長春來函 一要求撤 何 各 答覆法滿洲一 云吉長鐵 項交涉事 京友來图

程師前往吉林測量路綫估計欵項想勘 蔣至今尚未開工昨聞南滿 路早歸中日 林測量路綫估計款項想勘估後不久開工昨聞南滿鐵路公司遴派日本工合辦所用道木等久已購備存於頭道 日本商人前在站 中工進口故事工等不工口與日本庶兒島從事鐵路工口本鹿兒島從事鐵路工

學速成科畢業生也近由某君介 順天堂醫院之看護婦旣 ▲大同報之勢力澎漲 蕭君之所以娶此婦者別 法政學生之堕落 湖南官費 派無論大中小學堂概須購置一分本館昨得之大同報已出兩期銷路甚暢各省皆由提學同報之勢力澎漲 東京留學八旗學生恒君 湖南宮費生蕭 有原因不足爲外 無學問貌亦不 紹娶 生 発 道 一 大 道 一 日妾聞係

中 追悼大會並請意 漲 矣 劉光漢之夫人) 三時借神田錦 選各省官費 信各班實闕而 材爲當務に急し ▲開 泛恒之人 鉅就各省官費挑選則 業關係至重吾 就官費挑選胥 本科 徐陳馬秋追悼 肯 章 君 太 炎 劉 君 本 炎 劉 君 本 輝館開徐錫麟陳伯平馬宗漢秋瑾 · 全因與日本遞信省往返商議挑 願學者惟查各學校附 於本 國現新設立郎傳部 本自維斯後華 即分配各省以備郵局任用 月 郵電有秘密之學未便教授 吏練習所肄業定爲豫科 七日(土曜)午前十 天義報社主 業後仍分配各原省使 生入學· 無須別籌欵項而已 理郵電規則完備 使署飭令留學 尤以儲養人 郵電之 事郵電電 學生經費甚 没了郵便電 土何震氏(

百十文

雜

述甲乙丙三值

原

生こ事で 情相 告 答空 居另 之不 言

要端緒 甲值探 則已於 起床 尋覓 東方巳明遂即 關係此案之重 色己暮甲 觀

名二百

必須其

蓮師與德

名恤費百

死金詳灘

道路

尙

未

卒

定

爲京●行接直・ 楊督 津暫住中州會常 乙誤矣

參議

克定廣東

袁宮保 圖及圖說 奥各 稱擊遠五千 機器局詳 之形式較比外洋 六百密達以上 考核云

萬

回

已仍

直局

若何但見 功子煤礦炸 班三 德國煤 時作 汽 班時点名 礦局年 作 一晝夜分三班頭班八 漢巨聲如雷震耳大 人異常惶恐未悉底 鐘得免於難亦云幸矣 八七月十一日午後三八日見發達礦道約長 誌(山東) 之久 炸 致

計(關於仇法 栖 屍身器 薫黑係 大 令 械 道阻

鐵路汴 公舉開 尋覓者 紳公學 知府王太守祖同爲協理業己真部禮部劉右丞果爲総理農工商部袁 理前

於無可 開辦并 裁改江 裁汰 旦經 隸歲計銀廿 尙 現 必至擬 留江 宗餉 自强軍 能所

大令等 因業主索租過重於 萬頃湖勒索激亂 濟 要需 戒嚴 均即 初 B晚率兵督際馳往彈廠 巡防營張管帶蕪湖縣 日糾衆抵抗數逾萬1 防意外 · 督除馳往 張管帶蕪 西江

由邑尊 路橋 初三 隨 公估 崗 河損 帶 安 己飭 敵 令 前日 公司 請 十個 於

全 遍 軍綽哈布查謝

骸赴任與否 赴任與否今猶未決據此則中丞來蘇之期或尚帥日前電覆略稱敫因久病前已請假現醬續乞中丞調任蘇撫滇督錫淸腳曾致電道賀兹悉張 張中丞續請病假紀聞(亞) 浙撫

龍州强鄰本畏且勇义忌其久駐邊安變調赴援剿厥功尤偉游保副將現統邊之匪戰功最多全邊肅清保升都司

大半獨以該統領為可

恃遂檄令專剿

常遂保

春部下二十五

孫馬總兵盛治部下統何嗣經法領事商請數十役斃法兵甚衆

遙遠云 遙遠云 寄宿云 炮台抽選 切規模尚 府廉創辦炮科學堂計收學生不學堂(福建) 閩函云閩口 八入堂肄業即 經費支 / 炮兵宿

態改派委員保 護薩島華丁

省

忠堯因病不過 等情會洋腎完善一型患者不迅速電复起程來學兩省各給川費若不迅速電复 呈請憲台察核應否電復憲台另派何人亦未接奉 往川費應給若干原電並未聲明智 聞省選定有 **意電商另派等** 定粤認一半 商局准該局 洋務局應發羅道川資及 有人再行的辦希即查照無人可派仍請由閩物名無人可派仍請由閩物名 電復詳辦已見前報現 可能量 由前來究竟閩省現擬另派 庸另再派員以節縻費惟所需川費 由 島華工被德 即查照 園物 省派 省派羅道忠堯來 迅速電復行知遵辦 色酌委在宣 即閩省曾否電說 此復 善後局藩憲農 何人何時理合具商 何 問督 自

將仰蒙識拔任以邊寄力矢報稱不料法人近近接邊防榮字各軍統領陸副將榮廷密稟略 排外之思想與越南游匪相通欲不利 者或不察訛言或有心媚外恐副將終難兇罪况 邊將 感激莫可言宣第念副將旣爲人 隙日深數月 將保全 西廣 料法人近來屢 **桂撫張堅** 於彼幸荷洞 有 此目 任 副 帥

藩司許涵度有貪於貨賄驕蹇不職等語並牽涉 一川灌被劾交查(四) 近有言官奏參四 營門將營 法相 一營因 桂省軍 迭次

鄂督 張奏請設立水泥

案暫行免稅以勸工業而挽利權一 一摺奉 旨依議欽此叉商辦鐵路所用材料請照官 天恩俯念商廠創辦維艱根基未 暢銷土貨旣係鐵路材料之大宗相 此均經 國家提倡維持 購機雇匠費多 此叉准農 多中 不足以 之 路一 摺

釐其准兇年限多少比照

批起馬镫各香棹發落啼鐵棒實面

0.0

8

9

000

が散骨

老爺脚前

乙第五号車管裝卸輸船上

者請認明招牌决

以元會請來後一十經南均開

字

石材木材等

洋

盚

崎

瓜、全質堅工美價

行

嶺

9

4

街

99999

角本之可言。

免成親保者封到去

本到堂服

議二如不 若三不但

0

處發分堂本由

實大德永廣春巨復巨長德和 盛順盛玉盛和源裕源春順信報 公號發成永順愛恒順和経局房

零三海北鄭黑阿山懷新旅大州 古 參望家 什城仁賓 塔姓威木屯河河子縣堡順連台

順鴻福原天恆世或過天天天 湯 盛發 與首合成一皮龍和合合缺 發號達北與水魁房海湧面泉祥

远法伊惠陵柳通 復蓋營牛海 丸洋告以 庫通園 河化 每樓示兒 州門州城海縣縣州州平口莊城 村後為再

吉八

公司廣告

小期今啓 西現年者 關有八本

齋四至

機爲酬尤本會特往幸舘

可別昔名開

工紙鞋界

流在捐盤

連局地山

羽戶有

復用紳

用之士

火發趙

酒又地 作某日朝

公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設伍仟張官帖銀元兩便公司彩票章程額設任任張官帖銀元兩便公司彩票章程額設任任張官帖銀元兩便公司彩票章程額設任任張官的表面。 彩三彩彩彩彩上百三十四一 各人寓小而閣 有開彩規則 等之處鐘樓 下期至九月十八 下期至九月十八 下期至九月十八 下期至九月十八 一 益彩以 源十來

二八張張張張

張張

元元元元元元元

由限寄過

鑿井

高口大街路 馬臨是幸 路路是幸 路路是李路

是日請駕早臨 現寓大南關什字街正出奇萬千變化男女可觀每位座錢三角二角樓座五具樂電光影園於八月初三日起每日灯下仍晚八點鐘俱樂電光影園於八月初三日起每日灯下仍晚八點鐘

客影雅戲座眞

淡海堂

專售

本機主

哲字十小南陽西大 番三十二話電

本號新設立在小東門裡路北門 本號新設立在小東門裡路北門

不八疋五克月各間己初色自

獨一無二如官紳諸四零碎用具一概俱是一無人所鑄電人物。 戲電樂音會善慈

電百大戲兒小

裝運各 幇 船生意兼賣各 幇 貨 椢

石

皮廠挽回利權爲

靴鞋操衣軍帽照比外權為宗旨防造東西各

有鐵工機器

精妙如有患的 斯症者

書 局廣告 面精潛壁現東式局 議選名創在洋機購

盛泉的

省城鐘樓南路西

如新定期不誤賜

顧者移玉惠臨可

奉天小函

關大街路北

門司市榮町五丁

日本熊本市下通町二丁目

百四

O

百万

是会告人

十九吊除 六吊二百

職小小 米麥米

四帮文 六吊二百文 八吊二百文

A

行

於十八日在英京及俄京均行宣佈 (我] 兩國 訂結協約事 宜聞該協約即 阿日本及各國政府據實照會英

電

客貨兩車互相衝突一事據一報云搭客四日倫敦電云昨電墨四日鐵路於昂喀 三名頁傷者有四 三名

▲八月十六日東京隆程回任問因事展緩一日再 、克拉斯哥府之織工及諾爾維齊府 **山日東京電** 云前電 事兹查被損之處尚不

省

定於二十四日啓程云

投已於該生前

在案毋庸多賣此批

禀悉官

字

以

習不

旨試署奉天交涉使是以陶觀察於十八日晚設筵 ▲同上 日將赴京游歷 駐紮遼陽之日軍師團履新之賀而聯與國之睦誼 署內邀請駐奉各國總領事及領事署員公宴以誌 交涉使之開筵宴客 陶杏南観察奉

八可

+

▲同上 學務人· 長鮫島將軍於十 早迭矣 列報部聞張提學使己飭承辦科員從速彙齊 務公所各課員詳細履歷及有何專長均 人員履歷呈部 提學使接准學部

以示營制 標統帶領現己改立名目歸為第一標三營備補除改立名目 省城設有備補除一 **備補除改立名目**

(所管勢便奪稱三第)

君日前禀請自費入法政學堂從旁講聽已蒙 督牌示着 H到本堂面試 定大紅泡之空廠 巡警第一分局近 近有田奎文謝景 戶

員. 之局所 壯異日之觀瞻而有巡警資格乙兵弁出入非惟足敷辦公之用而地勢宏敞院宇雄偉甚形熱鬧諒不旬月間定現出一嶄新輪奧

(八月十八日晚)

電

以繼劉後月 安特委本 到 亦可 到差刻聞提學使以該所管理各小學奉提學使委尤提學司總務科額外科上 提學之派委科員 小學總查所 支車 馬費三十 提學司 金 外科 小學 君 科所 滋兼 員委已員 已於 宜極

基地究 义有免契爲憑據理向討豈有不 輸玉錫等夥開紙房關玉錫以舖房 品劉鳳鈴等說合将生意兌給 未設縣等詞含糊率 賡堯呈批 係何縣 此案屢經批 惟新縣 東索要房租錢文經王成 明其中 楊玉枝 駁該生輙 核 關某既有 雖未添設而奉天 十一間 二理所呈 以 先放 作 城 顯 爲 有 成

官話字母畢業 母隨處可 一 測算事脩科 一 測算事脩科 赴蓋平設立 無妨碍 全班學 字 生請

到案質訊早 合候札 催飭 先後 覆核奪爾即前 四至 批示 暨 該管興仁縣會同 是否與 買 示。飭 明治抗 並 主佟恒文迭次具呈業經 札界 赴投質詞 不到案如 傳 訟乃 紅正藍兩族 實殊 早 早.

匪徒出 五黄豆則 彼處鄉 亢旱而至後幸得雨深透黃豆等未致歉收秋獲在 七八成之間乃本年 宮口 七吊 近 來該 凡至中秋 五百文較從前並不知 屬置豆餅價值小洋 貴之原因 之匪耗• 地又有賊匪沿路 出豆可能達約四十萬石之譜 肯賤售也 以後常有搶却立 鐵嶺左近夏初連日 低落盖因各 却皆持快 一帶素爲 元

借錢悉以 以発日 等 片挨 擾而 測 四局 有 村 富 照

巷某時 管 官 長 某刻四局銷 乙人 定規 亦可 按時遵郷小井の差再爲日派遣探出 若如

生等如 途之幸云云 嚴約東所 誹謗會經 發該堂紳董 堂甲 員等亦宜 本廳出諭嚴禁 學生二 查確據實禀海 准在外 定按 約束 H 該 前擾。 以息流言而 嚴斥該學堂 勿蹈前 任意滋擾以 生 等 分 府馬玉 被人等

己子 蓋平 商會 吊當堂明罰苦力十 慶之數倍至城交局 規壹千吊交上 未悉何法與巡兵暗 果反成口狡 之解紛始停氣 尋找以先開 委詳錄於後前談經之與 何妨不料路中變其 乞郭 來函云商會 山寨住 相下 房詹舉 封王子 此村正 晚經 帶之同行在王廷棟以爲理直同去下之間有村正王廷棟以爲理直同去下之間有村正王廷棟及會首等爲人不平道温信角至 大不平途為偏解致使有一巡兵吃 電之高長慶意欲勒索錢文詎料不 聞之高長慶意欲勒索錢文詎料不 體局之巡兵查至城南二台子村中 一談經之與不經明眼人自知也於七 之閭永全轉煩梁實 二個月毎月合銀七兩五錢一舉等爲之關說暗中賄錢三千 會首等家俱 小全轉煩梁寶山之弟後又 1村正因其嘴硬直講其理 1村正因其嘴硬直講其理 1村正因其嘴硬直講其理 高長慶迯遁巡兵等意 之處今將滋事原 日本報登載 奥王延續有

也又言巡兵被打堪々待死 解紛亦属有責柰有罪 去冬滿 會致 王廷棟素行 慶典巡兵成 又查姚乃侯之至戚也復 無賴一語質屬誹言主廷 為何不驗傷之輕重 之談 囹圄と

來函孰是孰不

苦云 此 刚

則爲學界前例從重罰辦 **拿學界爾學** 後務須從 一初司馬核 物任意

示嚴 所有漁船 上漁船 令

兵之野蠻何該管軍官毫無所査恐諸一帽子撕壞並將所佩之刀抛於房上方一臂膀受其重傷登時不能動轉該軍兵 不下百數十人詢 後如再犯者須甘· 長春 兵數人群毆該巡目只有受打 今錦附 與常備軍兵不知因何口角齟齬竟自用武該軍與常備軍兵衛突 開北關第一局巡 設 版 武 武 武 武 立 社 由 之 戒 煙 心認罰云近開由此支社成脫者 有 願 書按日 **唐按出服樂**問不立效戒 解來鵝耶麵子等葯勸戒 銷縣啟新閱報社內于 突• 該軍兵反為 如各散 之力遂至 類走調該 巡目

挺停孟家屯之車: 之要点可 路站。 (原南族該車) 南滿鐵路公司 大站

訪某 **下但事有** 人至某街 者每日必在二三名之數至隱秘者及已死而未報一百廿七名治療者僅有一名耳聞調査新染此病 設立之時以後染病者共有 hi. 初 名初 发染两者共有一百四十七名死者 1·初十日仍在病床者十九名自防疫 1·日至初十間新染鼠疫者十八名因

昂漲云 者尚属不少云

北示仰爾各色人質 協順 防順 防· 疫照料現 之來往並食料之輸入及**勵行清潔使其身體衣服**毒之原種之傳播由飲食介之故此須各愼戒病地例各人所能知悉蓋該病毒之傳染是因有細茵病 染極爲劇烈 已有數名尚 處有虎列刺 之侵襲而免不測 其傳染之誘因尤爲預防法上有至大之効 防避其慘禍 在本管內旅順市罹此疑似虎列刺 防• 病 其慘禍亦不可測是徵內外各處之事 有 之急務已經 **微**赞之光深爲所慮且該疫者其傳 瀉病蔓延而極猖獗 上海大津營口 關東都督子爵-在案嗣經 應爲先

工進入旅順口以防瘟疫下官爲防疫起見日前出一在各埠時疫流行已登 盜(途

等快四左●示醫不某總鋪●格餘三等草●知該任笑● 財猪日近大責院審與辦學總門過日件于刈崗妓也之巡 涉捕派忽連斥調其同派生辦移此某一野草兵館日區弁 該器警有警該治床事員李注時某又刦見强將大昨是醉 事及而商得年命 天疎矣飲議悉 連於該々偸該 管於刧刈 口野 舖歲客誤 王所 知迨味某樂口之敵刧此至恶配酒天中衆行 家 云 不務 情毒當合致主云默人尙路鋪 特發卽戒喪堂

盛長春車站 日為寂寥南滿路公司因攤日內停閉車站而期與而搭客載貨亦孟家屯較該此話多不便故孟家屯興旺是以前在孟家屯車站開設舖店者紛々遷往 之業務云

经出

三十八丽

亦速云 哈爾濱 多聞各茶莊均將務理安 埠到船(普洛司皮耳 司未裝運之茶一十二萬一 至輪船裝運茶葉亦仍陸續 三十三萬二千三百舖得八月 以後連茶東清鐵路已騎安專車以備齊 如前之旺盛本年八月海參威共到 運茶之報告 止至現運出三百 裝來 有加 伍 無 干 減 零二

病者 事 ●新統到差 奏派按 野所為易官作私希恩 風聞並非真賊滋擾乃係隣北地老瓜溝地方匪警由該 督程平齋軍門業於 朝 各營將官齊 集叩賀秉受指 八月初六日 自當另 该匪設卡 隷練軍 封未 到 朝廣 拒傷 前報 英 官兵亦有為官兵亦有

果爲 **運柩回湘矣** 統楊瑞生軍門 有有任城 備正意平 補巡瀏康祖 隊 弁 覽 里 人等始告 人等始告 人等始告

主遂未綫某

日殺 臘不期夫民連 一皆醫 百 能力害

貴鑒可也此佈 樣瓦斯洋燈煤油洋燈 廣盤包頭表啓 東磁背玩八者 撼杯包物音本

本行主人啓本行主人啓本行主人格本行主人

並自行車修理租車令又運到

(六)

北朝南門面刻下開張一个移在奉天東華門大街東首坐

行車商會 曾

設在小西邊門裡路南專售新式

精緻東洋車

- 各種類件

新到東洋車廣告

等無不完俻賜顧者請移玉往購可也此佈 廉物美並延聘名工修理各項人力車及配

奉行開設在奉天自造玻璃類 小西邊門裡路南

啓

寬城子北大 灣嶺两四 外火神廟街 天大西關高台廟街廣泉

中意本家中

高語言ない

樂房

斷即活血通氣萬病删除真絕無之靈劑也服法以藥一帖裝麻布袋中入碗內用眩暈酒醉昏亂等症無不立服立愈凡人無病若能每月五六次服用此藥恒久不食無味血熱上逆發狂發癎或四肢腰背威受風寒濕氣以致筋肉疼痛及夫船車

設大日本東京市已二百餘年馳名遠近雖山野僻境無不梯山問律咸來購求近

俊湯浸泡待藥氣溶出乘熱飲之浸池至五六次藥氣未盡者再加水煎服本舖開

元許 **醫藥正舗 喜谷市郎右衛門** 日本東京市京橋區中橋東仲通大鋸町六番地

設在營口西北街路南 客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事潘等物幷代客裝運漁船配載事宜三井行與本 創辨油搾生意多年以本營業非祇做油灣壹 玉店事田素及

批發處

町大 三連 丁 浪速

日本實藥株千會社

F

三.00

新 未 民 天 開 自 到 開

下